

米国JET記念高校生訪日研修の実施 東日本大震災で亡くなったJET青年の遺志について

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、外務省の協力を得て、米国JET記念高校生訪日研修を2014年7月に実施します。このプログラムは、東日本大震災で命を落とした2人の米国人JET(外国人指導助手)―テイラー・アンダーソンさん(石巻市・バージニア州出身)とモンゴメリー・ディクソンさん(陸前高田市・アラスカ州出身。2009年度国際交流基金の全国JET日本語教授法研修修了者)―の業績を讃えるとともに、将来日米の架け橋となる米国人の若者を育成するために、5年間継続して実施するもので、今年度は平成23、24、25年度に引き続き4回目の実施となります。



* 写真は昨年実施の様子

亡くなった2人が愛した日本。その文化と日本語を、米国で学んでいる高校生32人が来日し、国際交流基金関西国際センター(大阪)での日本語研修を軸に、お2人が勤めていた石巻市と陸前高田市のほか、気仙沼市、仙台市を訪問し、高校生・JET関係者等との交流を行います。

詳しい日程については、お問い合わせください。(お問い合わせは各協力機関ではなく、最下部のお問い合わせ先まで)

■ 米国JET記念高校生訪日研修 概要

- 【招へい期間】** 2014年7月9日(水)～7月23日(水)
(うち、7月11日～7月15日は、石巻市、陸前高田市、気仙沼市、仙台市を訪問)
- 【参加者】** 32名(米国で日本語を学ぶ高校生)
- 【訪問先】** 岩手県(陸前高田市)、宮城県(石巻市、気仙沼市、仙台市)、大阪府(順不同)
- 【協力機関】(五十音順)**
- 石巻市:** 石巻ニューゼ、石巻市立渡波小学校、Kiwi Club、チームわたほい、宮城県石巻好文館高等学校、宮城県国際経済・交流課
- 陸前高田市:** 一般社団法人はなそう基金、NPO法人陸前高田市支援連絡協議会 AidTAKATA、陸前高田市教育委員会、陸前高田市立気仙中学校
- その他:** NPO法人底上げ、大阪府立泉北高等学校、関西アメリカンセンター、駐大阪・神戸米国総領事館、ホテル望洋、宮城AJET、宮城県仙台東高等学校、リアス・アーク美術館

※ 事業実施にあたっては、お2人のご遺族、アンディ・アンダーソン氏、シェリー・フレデリクソン氏をはじめ、お二人に縁のある個人・機関から多大なご協力をいただいております。

昨年の実施状況については <http://www.jfkc.jp/ja/news/2013/11/2013jet.html> でご覧になれます。

●本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 関西国際センター(担当:西岡)

Tel: 072-490-2601 / E-mail: jpf-kansai@jpf.go.jp

●ご取材に関するお問い合わせ: 国際交流基金コミュニケーションセンター 担当:川久保、麦谷)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp